

授業科目名 <英訳>	オスマン朝スーフィズム論 I I The Study of Ottoman Sufism II				担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 東長 靖					
配当 学年	1-5回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2016・ 後期	曜時限	金4	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
[授業の概要・目的]											
オスマン朝のイスラーム思想はその重要性にもかかわらず、いまだ十分に研究されているとは言えない。本講義は、そのなかでも重要なスーフィズムに焦点を合わせる。オスマン朝の思想書は、アラビア語、ペルシア語、オスマン・トルコ語で書かれるが、本講義ではこの内、オスマン・トルコ語の文献を扱う。後期は、オスマン・トルコ語のスーフィズム文献の講読を行う。											
[到達目標]											
オスマン・トルコ語の文献を読みこなす力を身につけることを目標とする。											
[授業計画と内容]											
オスマン・トルコ語で書かれたスーフィズム文献の講読を行う。また、必要に応じて、オスマン朝のスーフィズムやイスラーム思想についての講義を行う。											
[履修要件]											
現代トルコ語を習得済みで、かつアラビア語・ペルシア語の少なくともひとつを習得していること。											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
平常点によって評価する。											
[教科書]											
テキストはこちらで用意する。今のところ、アブドゥッラー・ボスネヴィーの『叡智の台座注釈』（オスマン・トルコ語版）を使用する予定。											
[参考書等]											
（参考書） 東長靖編 『オスマン朝思想文化研究』（イスラーム地域研究センター）ISBN:非売品（オスマン朝の思想・文化のいくつかのジャンルについての解題と原典・翻訳）											
[授業外学習（予習・復習）等]											
講義前には、十分な準備が必要である。資料中に出てくるクルアーン、ハディースの引用などは、必ず出典を確認してくること。											
（その他（オフィスアワー等））											
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。											